

平等院鳳凰堂 LED照明改修 プロジェクト



所在地：京都府宇治市宇治蓮華116
 施主：平等院事務局
 照明設計：松下進建築・照明設計室
 電気工事：㈱内外電業社
 修理完了：平成26年9月末日

S296

2年におよんだ「平成の大修理」を終えて、国宝平等院鳳凰堂が再公開。
 夜間拝観用の照明器具もLED光源にリニューアルされました。
 約千年前の平安の輝きを、時を超えて宇治の夜に浮かび上がらせませす。

平安時代の創建当初の姿に近づけた「平成の大修理」が完了

国宝平等院鳳凰堂は、平安時代中後期の天喜元年(1053年)、関白藤原頼通によって建立されました。以来一度も災禍に見舞われることなくその美しい姿を約千年にわたり保ち続けてきた、大変貴重な歴史的建造物。平成6年(1994年)には「古都京都の文化財」としてユネスコにより世界文化遺産にも登録されています。平成24年9月より約2年の歳月をかけ、平等院鳳凰堂では56年ぶりの大規模な修繕「平成の大修理」が行われました。屋根の鳳凰への金鍍金、瓦の葺き替えや柱や扉などの塗り直しが終わわり、再びその煌びやかな姿を拝観できるようになり、連日多くの観光客で賑わっています。

鳳凰堂を取り囲むように計5基のLED投光器がライトアップ

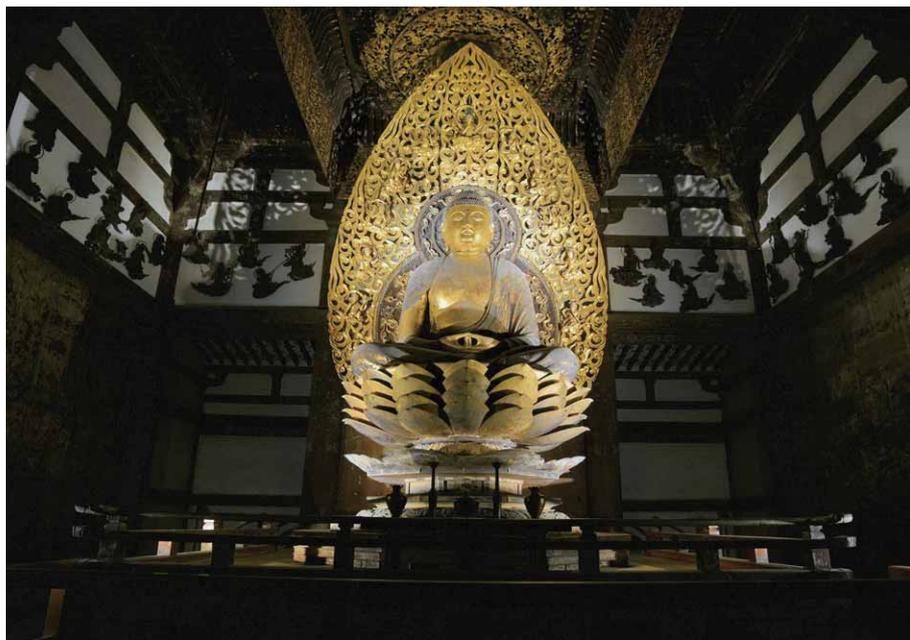
今回の「平成の大修理」にともない、夜間拝観用の照明器具も一新され、修理前のハロゲンランプ器具に代えて、配光制御のしやすさと省エネルギー、長寿命のメリットから最新のLED光源が採用されました。

正面側には、浄土庭園の中心である阿字池をはさんで、本尊阿弥陀如来像が座す中堂の真正面と、左右の南北両翼廊に対面する位置の計3か所に、高さ4.5mのポールに最多4灯のLED小形投光器を設置。照射距離が最大約70mと大きいため光の広がりが小さいルーバー付の超狭角タイプが採用されました。一方、尾廊側左右2か所には高さ4.5mの新設ポールに広角タイプと中角タイプを織り交ぜて設置。

夜間拝観用の照明器具には、鳳凰をはじめとする金具類に施された金メッキの色と相性のよい相関色温度3000Kの柔らかみのある光色が採用され、また、丹土(につち)色に塗り替えられた柱や梁の深みと、瓦の濃い墨色の落ち着いた平安の色彩を、忠実に再現させる平均演色評価数Ra95の高演色タイプLED投光器としました。

創建当初の美しさを取り戻した平等院鳳凰堂のその姿は、夜間の特別拝観時には、夜の間の中で阿字池の水面にくっきりと映り込んだ姿と一体になり、いっそう幻想的な、感動的な姿へと変化します。

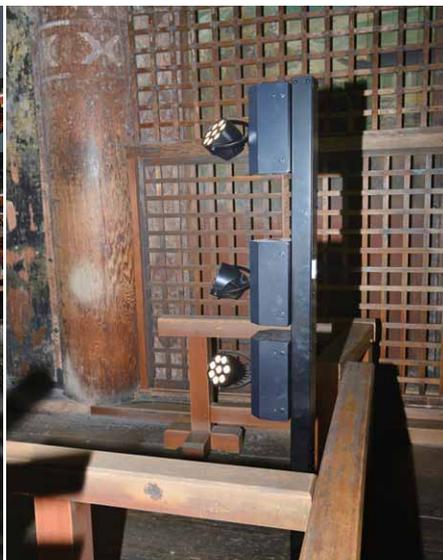
(※平等院鳳凰堂の夜間拝観は一般非公開です。)



平安時代を代表する仏師定朝作の国宝阿弥陀如来座像の照明風景 LEDスポットスタンド(カスタム商品)が光背を含めた仏像を美しく照らす



阿字池をはさんだ正面から中堂を望む



本尊を照明するLEDスポットライト3灯が縦に配置されたスタンド(カスタム商品)



浄土院から養林庵書院に抜ける階段を照らすLED小形丸型投光器



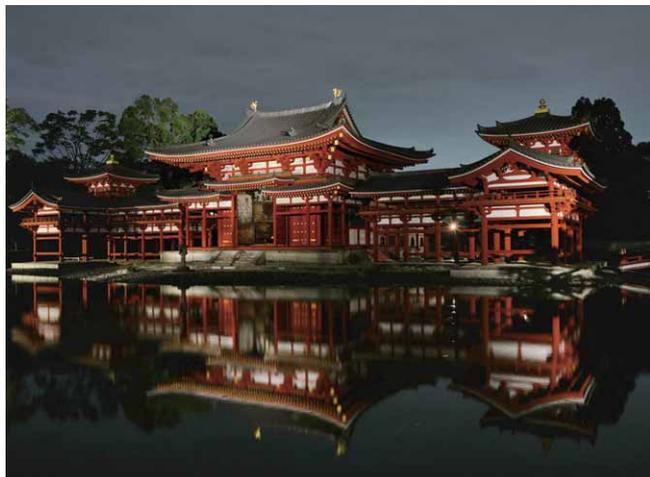
浄土庭園の植栽照明



尾廊側の南後方から鳳凰堂全体を照らすLED投光器(中角・広角タイプ)



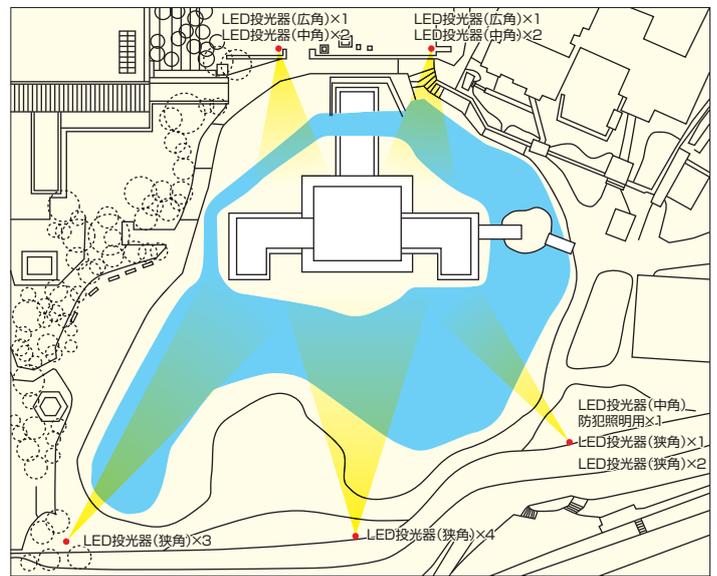
国宝平等院鳳凰堂全景 鮮やかな丹土色に塗り直された建物全体と中堂に鎮座する阿彌陀如来座像の美しい姿が厳かな闇に浮かび上がる



北翼廊側からの鳳凰堂全景 鏡のような阿字池の水面に平安の輝きが映える



昼間の景観をできるだけ損なわないよう配慮して小形のLED投光器(平均演色評価数:Ra95 色温度3000K)を開発



主な器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
平等院庭園	LED投光器(狭角)		9	LED 消費電力:85W
	LED投光器(狭角/中心光度低減タイプ)		1	LED 消費電力:85W
	LED投光器(中角/光束低減仕様)	カスタム商品(参考型番:HT-15013)	4	LED 消費電力:85W
	LED投光器(広角/光束低減仕様)		2	LED 消費電力:85W
	LED投光器(中角)		1	LED 消費電力:38W
鳳凰堂 室内	LEDスポットライト(狭角)	カスタム商品(参考型番:LEDS-70102L-10)	4	LED 消費電力:23.5W
	LEDスポットライト(中角)	カスタム商品(参考型番:LEDS-70102L-25)	2	LED 消費電力:23.5W
池周辺	LEDスポットライト		2	LED 消費電力:5.6W
浄土院	LEDスポットライト	カスタム商品(参考型番:IB-30123(K))	3	LED 消費電力:5.6W